

専門医に聞く 知っておきたい 病気のはなし

第4回

認知症 のはなし

厚生労働省の調べによると、認知症高齢者の数は2012年の時点で約462万人と推計され、2025年には700万人を突破すると懸念されています。そうした現状を踏まえ、神経内科では「もの忘れ相談」を開設。認知症および脳機能障害の早期発見に力を入れているそうです。高齢化に伴い、注目されている認知症について、先生に話を伺いました。



認知症は誰でもかかりうる病気です。原因は様々ですが、進行を遅らせたり治療ができる場合もあります。症状に心当たりのある方は、まず検査を受けてください。

認知症って、どんな病気ですか？

認知症とは、すべての活動の司令塔である脳がさまざまな原因で障害を受け、神経細胞が減少したり働きが悪くなったたりすることで記憶力や判断力などの認知機能が失われ、日常生活や社会生活に支障をきたしている状態をいいます。認知症は認知機能が低下している状態を指す病名(症候

名)なので、原因はその病気によって異なります。特に代表的な認知症を三大認知症といい、患者数の多い順に、①アルツハイマー型認知症、②レビー小体型認知症、③脳血管性認知症があります。それら以外にもいくつかのタイプの認知症がありますが、中でも慢性硬膜下血腫や正常圧水頭症、ビタミンB1欠乏症などは治療で改善がみこめる認知症といわれています。

【三大認知症】

	原因	特徴的な症状
アルツハイマー型	脳の中にβアミロイドという蛋白質が溜まり、神経細胞の働きが障害されるために起こると考えられている。	<ul style="list-style-type: none"> ■認知機能障害 (もの忘れ等) ■もの盗られ妄想 ■徘徊 ■とりつくり など
レビー小体型	レビー小体(神経細胞にできる異常物質の集まり)ができることで、神経細胞が死滅する。	<ul style="list-style-type: none"> ■認知機能障害 (注意力・視覚等) ■幻視・妄想 ■うつ状態 ■パーキンソン症状 ■睡眠時の異常行動 など
脳血管性	脳梗塞、脳出血などが原因で、脳の血流循環が悪くなり、脳の一部分が壊死してしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ■認知機能障害 (まだら認知症) ■手足のしびれ・麻痺 ■感情のコントロールがうまくいかない など

どんな症状ですか？

認知症の症状は、原因疾患によってさまざまです。最も患者数が多いとされるアルツハイマー型では、「少し前の出来事を忘れる」や「時間や場所がわからなくなる」などの症状、レビー小体病では「虫や人が見える」といった幻視などの症状があり、病気のタイプによって症状が異なります。

また、認知症全体に見られる症状は、大きく「中核症状」と「周辺症状」の2つに分けられます。中核症状は、認知症の患

者さんすべてに見られる症状で、記憶力の低下をはじめ、言語や計算、理解、判断などにおいて認知機能の障害が。また周辺症状は、がんこになる、興奮しやすいなどの行動や精神についての現われる症状です。認知症の初期では、簡単なことでも思い出すことができなれる方が多いのですが、暴言・暴力などとして現れた周辺症状から周囲とトラブルが起きることで、周りから認知症に気づかれる方もいるようです。

どんな治療をしますか？

病気の進行を緩やかにする飲み薬で治療します。アルツハイマー病には現在4つの薬が承認されていて、神経細胞間の情報を伝達する化学物質をコントロールすることで、思考、記憶、発語能力を維持するのに役立つとされています。

また、「治せる認知症」といわれる正常圧水頭症であればシャント手術。ビタミンB1欠乏症であればビタミンの補充を行うことで、根治をめざします。

病院では、どんな取り組みをされていますか？

神経内科と脳神経外科では、チーム体制をとり、毎週金曜日に「もの忘れ相談」を開設しています。近頃相談が増えてきた認知症について、最新の検査機器も使い、早期に診断・治療することを目的としています。

認知症は早くに治療を始めたほうが、病気の進行が遅くな



お話を聞いた先生
済生会二日市病院
神経内科
野田 和人

参考資料 | 「わかりやすい病気のはなし シリーズ50 認知症」
(一般社団法人 日本臨床内科医会発行)

INFORMATION

毎週金曜日の午後から「もの忘れ相談」を行っています。事前の予約が必要で、できるだけご家族同伴での受診をお願いしています。気になる症状の方またはご家族の方は、まずは気軽にご連絡ください。

診察日: 毎週金曜日/午後1時~3時(要予約)
連絡先: 092-923-1551

お問い合わせは **神経内科** へ